

【プロフィール】

新潟地震（1964年）を契機に防災アドバイザーを志す。以来、地震、津波、噴火、水害、竜巻、土砂災害等 250 か所以上の現地調査を行う。災害をなくすことはできないまでも、準備と訓練で被害を少なくすることはできると信じ、災害現場の教訓を伝える努力を続けている。

阪神・淡路大震災（1995年）発生時は2時間後に現地入りし救助活動などを行う。近年も東日本大震災、オクラホマ竜巻災害、フィリピン台風30号災害、広島土砂災害、ネパール地震、熊本地震などの調査を行うとともに、執筆・講演などを通じ防災意識の啓発に取り組んでいる。

【講演概要】

1. 最近の大規模災害に学ぶ

- (1) 2016年熊本地震の特異性（連続大地震と地盤土砂災害）
- (2) 2011年東日本大震災（大津波対策と凍りつき症候群）
- (3) 1995年阪神・淡路大震災（キラールスと木造家屋）

2. 南海トラフ巨大地震に備える、防災・危機管理

- (1) 震度6強の揺れ！そのとき どうなる どうする
- (2) 命を守るそれぞれの安全ゾーン（持ち出すものは命だけ）
- (3) 年2回の防災大掃除（命捨てるな、モノ捨てる！）

3. スマート防災・命を守る準備と行動

- 災害後対処訓練の前に、災害予防訓練
 - ① 火を消す訓練の前に、火を出さない訓練
 - ② 救出訓練の前に、閉じ込められない訓練
 - ③ 避難訓練の前に、状況別命を守る訓練

4. 自助・近助・共助で「ずっと住みたいまちづくり」

- (1) 遠水は近火を救わず
- (2) 近くの人が近くの人を助ける近助の精神
- (3) 防災隣組先進事例

5. 災害現場のちょっといい話

